

お知らせ

平成26年4月2日
東北電力(株)

原町火力発電所への木質バイオマス燃料導入に向けた 設備工事の着工について ～森林資源の有効活用によるCO₂削減および地域林業の活性化などに貢献～

当社は、低炭素社会の実現をはじめとする地球環境問題への取り組みの一環として、原町火力発電所（発電出力：100万kW×2基、所在地：福島県南相馬市）への木質バイオマス燃料（木材チップ）導入に向けて、本日、設備工事を着工いたしました。

同発電所への木質バイオマス燃料の導入は、設備の状況を見極めながら、段階的に混焼率を増加させる計画としておりますが、これに伴い、石炭の消費量が抑制されることから、同発電所からのCO₂排出量は、最終的に、年間約5万トン（一般家庭約1万世帯の年間排出量に相当）削減されるものと見込んでおります。

また、導入する木質バイオマス燃料については、福島県内および宮城県内のチップ加工会社が、それぞれ県内の林業関係者から原料を確保し、チップに加工したものを、当社が調達いたします。

地元の未利用材（建築用材などとして利用されない部分）を原料とした木質バイオマス燃料を安定的に調達・消費することにより、地域における森林資源の有効活用が促進されるとともに、林地に残置される未利用材が減少することなどにより、森林環境の保全が図られるものと考えております。さらに、福島県内および宮城県内から調達することにより、地域林業の活性化にも貢献できるものと考えております。

当社といたしましては、平成27年3月の竣工ならびに同年4月からの試運用開始に向け、安全を最優先に着実に工事を進めるとともに、引き続き、低炭素社会の実現に向けてさまざまな取り組みを進めてまいりたいと考えております。

なお、工事の概要は、別紙のとおりです。

以上

（別紙）原町火力発電所への木質バイオマス燃料導入に関する概要